



Reitaku Overseas Development Association

RODA ニューズレター

一般財団法人 麗澤海外開発協会 会報

平成27年
(2015年)
12月20日

第20号

第13巻 第2号
年2回発行

主な記事

- 巻頭 途上国への教育支援を進めよう（竹原 茂）
 報告 平成27年度外国人留学生の紹介
 ネパール大地震復興支援レポート
 その他 会費等のお願いと納入者名紹介

発行所：一般財団法人麗澤海外開発協会
 〒277-0065 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1
 TEL. 04-7173-3165 FAX. 04-7173-8953
<http://www.reitaku.or.jp>
 発行人・木下廣太郎／編集人・横山守男

途上国への教育支援を進めよう

一般財団法人麗澤海外開発協会副会長
 麗澤大学名誉教授

竹原 茂



麗澤海外開発協会（RODA）は、「開発途上国において文化・経済の発展に協力するため、国際協力活動を通じて、世界の平和、人類の安心と幸福の増進に寄与すること」を目的に、昭和46年（1971）に外務省所管の財団法人として設立され、平成25年4月には新たに内閣府より「一般財団法人」として認可されました。これまで40年以上にわたり、途上国への貢献活動に取り組み、現在は、主にタイ、ラオスにおける教育支援、アジアからの留学生招聘事業、ネパールにおける医療支援、海外での自然災害に対する緊急支援等を推進しています。

ラオスから政治難民として日本に亡命した私（旧名：ウドム・ラタナヴォン）は、当協会設立以来の一員として、廣池千太郎・モラロジー研究所第3代所長（麗澤海外開発協会初代会長）や廣池幹堂・現理事長（同協会会長）等との出会いによって麗澤大学での役割も頂き、今日までアジア、ラオスを通しての難民救援活動や国際ボランティア活動に努めてきました。

麗澤海外開発協会では、私の名前を冠した「竹原基金」を12年前から設けていただき、東南アジアにおいて貧困等の理由で学校へ行けない子供たちのための教育助成事業も推進しています。東南アジアには、小学校を卒業しても、貧しいために中学校へ進学できない子供たちが大勢います。この基金の目的は、このような子供たちの教育を支援することにあります。

私は、これからの時代にふさわしい途上国への支援について、これまで以上に、その国の人材育成に力を入れたいと考えています。国の発展と世界の平和のためには、次代を担う子供たちへの教育が何よりも重要だと考えるからです。

また、途上国の村々の学校や図書館に対して、図書等の寄贈なども進めたいと願っています。これを進めることで、麗澤大学・麗澤高校・麗澤瑞浪高校の学生・生徒、麗澤海外開発協会・モラロジー研究所関係者のスタディツアーを行う場も広がります。

世界平和の建設には、途上国の経済開発だけでなく、人々の教育開発（読み書きや算数ができること）が重要だと思います。子供は国の宝です。その子供たちが正しい教育を受け、それぞれの国の発展と世界の平和に努めてほしいと願っています。

麗澤海外開発協会では、これまでの経験と実績を踏まえ、廣池幹堂会長のもと、心の通い合う国際協力活動にいっそう努力してまいります。今日までご支援を賜りました多くの皆様にあらためて深く感謝申し上げます、今後とも当協会に対するご支援とご協力をお願い申し上げます。

ラオス国立大学から留学生を招聘 <平成27年度>

麗澤大学で学ぶサイヤリン・プッタソーンさん

一般財団法人麗澤海外開発協会では、平成26年度よりアジアからの留学生招聘事業を開始し、大きな成果を上げています。26年度は、ラオス国立大学日本語学科からの留学生ウドムスック・スリントーンさんが来日し、麗澤大学別科日本語研修課程で1年間、日本語の研修を受けました。27年2月に帰国し、ラオス国立大学に復学したスリントーンさんからは、「麗澤海外開発協会の奨学金のおかげで、日本での学習と経験がとても役立っています」との報告が届いています。



平成27年度は、昨年度同様、ラオス国立大学日本語学科から3年生のサイヤリン・プッタソーンさんが9月9日に来日し、麗澤大学別科日本語研修課程での1年間の日本語研修を開始しました。出身は、ラオスの南部サワンナケート県です。

麗澤大学内の学生寮で、日本人の学生や留学生と一緒に共同生活を送っています。友人からは「りんちゃん」の愛称で呼ばれ、寮生活を楽しんでいるところです。生活している学生寮は新しく、とてもきれいで、また、キャンパス内の樹木はラオスで見かけないものが多く、とても新鮮に感じられるようです。

寮での食事は自炊です。ラオスでは海水魚が高価なので、サンマや鮭など海水魚は初めて口にするものばかりですが、「とても美味しい」と感想を述べてくれました。

麗澤大学在学中には、日本語の研修のほかに日本の文化、日本の生活など多くのことを体験し、将来はラオスと日本の架け橋になれるよう期待されています。

今年9月に開催された麗澤海外開発協会の理事会で、彼女は次のように話していました。

「このたび麗澤海外開発協会の竹原基金から奨学金をいただき、日本へ来ることができました。ありがとうございます。そして、これまで以上に勉強を頑張ろうという意識が生まれました。将来、日本語を続けて勉強するために、麗澤大学の別科で一生懸命勉強します。どうぞよろしくお願いいたします。」

私の日本語を勉強するきっかけは、子供のころ、日本のドラマやアニメを見たことです。このころから日本に興味を持ち、日本語を知りたいと思いました。江戸時代のドラマ、特に忍者や侍の映画が好きで、一度日本に行ってみたいと思っていました。

私の将来の夢は大学院に進学し、ラオスで日本語の教師になることを考えています。ラオス人に日本語を教えたいと思っています。また、日本語能力試験N1に合格したいと思います。

麗澤大学で留学生として日本語を勉強できるのは、私にとって大きなチャンスなので、麗澤大学で一生懸命勉強して、日本語能力を向上させ、それから、日本文化や生活への理解を深めたいと思います。そして、いろいろな国の人たちと友だちになって、一緒に新しい経験をし、いろいろな国の文化も学ぼうと思います。また、ラオスに帰ったら、日本語を勉強した経験を役立てたいと思います」

ネパール大地震復興支援レポート

9千人以上が犠牲になったネパール大地震から8か月。壊滅的な被害が出た山間部では道路が寸断したままで、救援物資の輸送が大幅に遅れています。国民の3割近くにあたる約800万人が被災し、学ぶ場を失った子供は約100万人、建物の被害はおよそ90万棟にのぼりました。復興はなかなか進まず、今もなお250万人の被災者は生活物資の不足で不自由な生活を余儀なくされています。



ネパール政府は、今年度の予算で1,000億円あまりを投じて、住宅の再建などを進めることにしています。しかし、復興を一手に担う政府機関を設立するとしたものの、いまだ責任者も決まらず、宙に浮いたままです。また、復興計画のようなものもありません。ネパール政府だけでは資金もノウハウも不足しているのが現状で、引き続き国際社会からの支援により、これからの復興を支えていくことが求められています。このような情勢の中、新憲法の改正を要求する住民がインドとの国境検問所を9月末に封鎖して以降、必需品の供給量が激減し、燃料や医薬品の不足が深刻化しており、十分な食料や防寒具、医療等が提供されなければ「新たな惨事」が起こる恐れもあります。

麗澤海外開発協会が支援している「よもぎの会」のスタッフが住むカトマンズ近郊のシタパイラ村では、住宅の倒壊によりスタッフの親戚が亡くなり、多くの住宅や学校には倒壊や亀裂があるため、粗末な仮住まいで電気や暖房もなく、不自由な生活を送っています。また、カトマンズ北東60キロのアネコット村では、建物の90パーセント以上が倒壊したため、被災者はトタン小屋や粗末な小屋で生活しています。

麗澤海外開発協会では、皆様から寄せられた緊急募金を、下記のとおり、被害を受けた各団体にお届けしました。

記

1. 緊急募金額 971,000円（個人・団体72件）
2. 募金配布先
 - ・ネパール「よもぎの会」
 - ・アネコット村

（報告：麗澤海外開発協会常務理事・木下廣太郎）

たくさんのご支援、ありがとうございます

<平成27年度> 掲載に同意された方をご紹介します(順不同)

■会費

廣池幹堂、甲良昭彦、木下廣太郎、関哲夫、山口明、大橋政夫、野田ミート(株)、長谷和治、竹原茂、土谷和光、林正勝、大河原良雄、横山守男、荒木郁雄、栗山清和、高松宇佐雄、杉浦廣道、小松務、山本祥子、大山寿々枝、柏谷康博、橋本半兵衛、大谷誠之、望月靖子、横山印刷(株)、(合)川貞商店、今井收、所一彌、石渡英雄、大村金三、長谷篤治、山田雅雄、佐藤薬品工業(株)、小野剛、小西直之、藤村薫、古川定邑、俣野幸昭、桑島義智、(株)小松製菓、小山松男、(株)スーパーバリュー九州本部、横尾昭男、小嶋義佑、前田三作、和田悦治、長谷川和子、東海林新彦、濱井利一、井上源一、堀内一史、太田徳昭、今木康之、増田一江、小林雅純、大内栄三、永治達彦、(有)弘明堂、伊東俊太郎、中川千恵子、福井博康、桑島朋子、平塚靖永、須見好和、松岡孝終、三木実、上田豊、木津孝道、河村満、熊木亜夫、松本彰夫、澤田栄作、堀勝三郎、岸上肇、菅間正則、山本栄道、井川好長、岩田英志、横山明弘、山口秀正、黒白常光、菅澤運一、長谷真千子、藤尾佑男、田中一宏、沖野二郎、北川治男、村瀬泰比古、黒川洋、伊藤喜見子、雲丹亀宏明、鈴木貞夫、森口真美、淡島成高、八代京子、大上正、永治真樹、肥塚憲造、森田武志、青木久子、田口英樹、渡壁照明、世田谷北沢モラロジー事務所、伊藤温夫、結城保、赤井和行、赤松良平、伊藤豪人、増田つかさ、益田晴華、加藤純一、小牧モラロジー事務所、三原モラロジー事務所、関口輝比古、中津モラロジー事務所、山田莊一、島田京子

■準会費

野田好秋、望月敏雄、阿折淑子、小西幹夫、高野橋孝治、望月省二、大山圭子、長谷英治、長谷憲治、杉生ウタエ、岡田宙子、鈴木孝明、橋本賢三、乙部完司、行本まり子、安田誠一、野川裕史、尾崎哲子、岩永和美、長谷美世子、前田憲一、林善介、佐藤惇

■一般寄付金

廣池幹堂、(株)ピアかざりや、長谷和治、渡辺康博、栗山清和、山本祥子、横山印刷(株)、(株)ダイキョープラザ、所一彌、長谷篤治、山田雅雄、發坂卓雄、野田好秋、俣野幸昭、前田三作、池田千栄子、和田悦治、長谷川和子、東海林新彦、山崎純雄、三栄工業(株)、大住敬一、大垣モラロジー事務所、福井博康、杉山直、山本栄道、増田顕次郎、早乙女静子、井上照悟、大山圭子、橋本賢三、沼野文子、山田武司、沖野二郎、森口真美、八代京子、永治真樹、小野義仁、北敬子、青木久子、伊藤温夫、中津モラロジー事務所、飯島孝夫、柿本勇人、勝矢啓司、加藤信次、上萩洋三、神田出、関俊章、高坂賢吉、富松哲次、内藤元彦、長尾小静、藤田和弘、三浦洋嗣、三笠忠克、三上ハツミ、光安輝雄、(株)ダスキン東横、杉山直、油谷信俊、船橋モラロジー事務所、小山モラロジー事務所、一宮中モラロジー事務所、高松モラロジー事務所、四日市西部モラロジー事務所、大阪東淀川モラロジー事務所、南国モラロジー事務所、ファッションハウスたかさご、森与喜男、笠田環嗣

■竹原基金

廣池幹堂、山口明、長谷和治、竹原茂、土谷和光、荒木郁雄、栗山清和、高松宇佐雄、山本祥子、山本祥子、柏谷康博、所一彌、長谷篤治、山田雅雄、發坂卓雄、野田好秋、俣野幸昭、桑島義智、小嶋義佑、前田三作、和田悦治、堀内一史、長谷川和子、大山寿々枝、橋本半兵衛、東海林新彦、濱井利一、福井博康、桑島朋子、俣野貴昭、俣野智美、松岡孝終、三木実、山川香、山本栄道、大山圭子、沖野二郎、八代京子、岩永和美、永治真樹、青木久子、伊藤温夫、山田莊一、片山道則、麗澤大学ボランティアサークル「ブアン」、小林一正、長谷川卓司、藤田和弘、松井さだ子、三浦洋嗣、加藤翠、桑島祥子、支援キルトの会ふーぷ、橋高重久

《会員・準会員募集中》

麗澤海外開発協会は皆様からお寄せいただいた会費や寄付金によって活動しています。

会員および準会員を募集していますので、是非ご入会いただきますようご案内いたします。

種類	年額
会費	101万円(10以上)
法人会員	101万円(10以上)
準会員	102千円(10以上)
寄付金	任意の寄付金を募ります
竹原基金	任意の寄付金を募ります

郵便振替：口座番号 00120-6-499164
 名義／一般財団法人麗澤海外開発協会
 ※通信欄にご寄付の種類をご記入ください。

銀行口座：三菱東京UFJ銀行松戸西口支店 普通 4057567
 名義／一般財団法人麗澤海外開発協会

一般財団法人
麗澤海外開発協会 事務局

〒277-0065

千葉県柏市光ヶ丘2-1-1

TEL: 04-7173-3165

FAX: 04-7173-8953

E-Mail: kaikyo@ga.reitaku-u.ac.jp

HP: http://www.reitaku.or.jp/



会費、寄付金をお寄せいただいた方のお名前は、会報に掲載させていただきます。掲載不要の方は振込用紙の通信欄にその旨をご記入いただくか、事務局までお知らせください。ご連絡のない場合は、掲載に同意いただいたものといたしますので、ご了承ください。